

## はじめに



村民の皆様におかれましては、平素より読谷村のむらづくりにご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、全国的に少子超高齢社会を迎え、本村においてもその傾向が徐々に顕在化してくる中、平成23年2月に策定いたしました第1次読谷村地域福祉計画に基づき、地域社会を基盤とした支え合いの仕組みをはじめとし、様々な施策を展開してまいりました。

今回、各種法制度を踏まえた第1次計画の見直しへの対応と、更なる計画推進の強化を図るため第2次読谷村地域福祉計画の策定に取り組んでまいりました。

特に、急激な社会情勢の変化による影響を大きく受ける住民ニーズにつきましては、再度アンケート調査を実施し、その結果を元に計画の見直しを図るとともに、地域福祉計画策定委員会においてさらに住民意見を反映させた第2次計画となるよう、議論を重ねての策定となっております。

第2次計画におきましても、「子どもからお年寄りまで、皆で支え合い、共に生きるむらづくり“一人ひとりが、何か一つ自分のできることをできる時にできる範囲で”」という基本理念を踏まえて、村民の皆様方とともに、考え・汗を流し・その結果を共に享受していく協働の村づくりを進める中、誰もが安心安全に暮らすことのできる読谷村を目指し、よりよい地域福祉の向上に努めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、アンケート調査等により貴重なご意見をいただきました村民の皆様、地域福祉計画策定委員の皆様方をはじめ、ご協力をいただきましたすべての皆様に心から感謝申し上げます。

平成28年8月

読谷村長 石嶺傳實